

フォルクスワーゲン「ゴルフ GTI カップ ジャパン」第4戦終了 浜崎大選手の年間チャンピオンが決定

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市)と、レース運営組織であるフォルクスワーゲン・トロフィ・アソシエーション(V・T・A)が開催する、「ゴルフGTI カップ ジャパン 2007」第4戦が、富士スピードウェイ(所在地:静岡県)において、8月4日(土)に予選、翌5日(日)決勝の日程で開催されました。「ゴルフGTI カップ ジャパン 2007」はナンバー付きのゴルフGTI 2ドア DSG仕様車をベースに、専用のカップカー装備を施した車両で競います。2007年度第4戦となる富士スピードウェイへは、エキスパートクラスに3台、クラブマンクラスに11台の計14台が参戦しました。

レースは、予選、決勝とも心配された降雨はなく、ドライコンディションで行われました。ポールポジションは、FISCO における GTI ベストラップ(2'08.765)をたたき出した浜崎選手が獲得し、二番手にはクラブマンクラスの白石選手が続きました。1周 4,563m のレーシングコース 10ラップ(45.63km)で行なわれた決勝では、浜崎選手がスタートから快走し2位に5秒以上の差をつけて、年間チャンピオンの座を獲得しました。2位には予選4位から上がった大井選手が入りました。クラブマンクラスは、予選総合5位の野澤選手が優勝。序盤の不運な接触でネクストツープールのスタートから、一時は大きく順位を落とした白石選手は粘りの追い上げで2位に入り、最終戦でクラブマンチャンピオン獲得に挑みます。また、シリーズチャンピオンとなった浜崎選手は、来る9月2日(日)、ドイツ ニュルブルックリンクで開催されるポロカップに派遣が決定しました。

Volkswagen Japan

第4戦: 決勝公式結果

決勝中のベストタイム: 大井選手 2'10.394(2周目)

決勝	クラス/予選	ゼッケン	ドライバー/車名	所要時間	決勝	クラス/予選	ゼッケン	ドライバー/車名	所要時間
1	Ex-1	77	浜崎 大 キーパー快洗隊エンテューラ	21'51.201	8	Cl-7	55	竹岡 圭 Team DUO Golf GTI	22'37.045
2	Ex-3	00	大井貴之 REV SPEED Golf GTI	21'56.480	9	Cl-10	81	鈴木 裕麿 砂沼湖畔クニック GTI	22'50.306
3	Ex-2	27	伊藤真一 キーボンレーシング TEZZO	21'59.143	10	Cl-4	904	岡本 孝 クレヨススポーツ	22'53.745
4	Cl-2	80	野澤 健児 ハマエンジニアリング TEZZO	22'12.932	11	Cl-11	75	藤尾 裕宣 藤尾内科 GTI	22'54.555
5	Cl-1	17	白石 隆 VAAM ラインハート GTI	22'29.718	12	Cl-3	13	中村 裕佳子 River West Racing	22'55.984
6	Cl-6	10	村上 政 エンジン・ゴルフ GTI	22'35.501	R	Cl-9	23	大田中 秀一 AUTANACAR GTI	
7	Cl-8	67	萩原 充 サーラLVレーシング GTI	22'36.460	R	Cl-5	25	谷 好通 キーパー☆快洗隊 GTI	

今後のゴルフGTI カップ ジャパン 2007 及びサーキットトライアル スケジュール

回数	日時	所在地	場所
第5戦	10月14日(日:予選+決勝)	宮城県	スポーツランド菅生

サーキットトライアル併催

<上記レース車両全般、及びレース全般に関するお問い合わせはV・T・Aまでお願いします>

V・T・A:フォルクスワーゲン・トロフィ・アソシエーション/コックス(株)内

担当:小保方 TEL:0465-80-0820 FAX:0465-80-0821